

令和4年度事業報告

【1】 法人

1. 理念

キリストの教えに基づき「人を愛し、助け、支える」を実践する。人を大切にし、人に感謝する。

2. 法人全体の目標

1) 連携

○自身の役割を果たし、他者との連携に努めます

- ・同僚間、部署間、事業所間の相互理解
- ・連携のための共通ツールの活用
- ・連携することによることでサービス力アップ

2) 安全

○利用者の尊厳を保ち、安全確保に努めます

- ・感染発生の予防
- ・介護事故・言葉の暴力・車両事故の防止
- ・事故報告・ヒヤリハット・ミスをきちんと省みて、繰り返しを防ぐ
- ・災害発生への備え

3) 地域交流

○地域と施設と介護保険で、住みよい地域作りをめざします

- ・「ほっと一息」の継続
- ・更なる地域との交流機会を求める
- ・地域に対し貢献できる仕組み作り

3. 概況

1) ①新型コロナ感染発生により事業運営に大きな影響があった。

②感染予防対策を施したうえで地域貢献活動「ほっと一息」を年間9回（5地域）実施できた
・感染予防のため5月の予防教室と11月の秋まつりの今年度も開催を中止した。

2) 労務状況

○採用9名（常勤7名・非常勤2名・内新卒0名）人材紹介経由採用6名

・特養7名（介護4・看護1・訓練1・非常勤介助員1）、デイサービス1名（非常勤看護師1名）
伊勢寺デイ1名（介護1）

○退職11名（常勤8名、非常勤3名、内定年退職1名、内就業1年未満3名）離職率11.4%

・特養9名（介護4・看護1・相談員1・非常勤訓練1・非常勤介護2）
デイサービス1名（介護1）、伊勢寺デイ1名（相談員1）

○雇い替え：非常勤介護→常勤介護1名、定年後再雇用1名（訓練助手）

4. 理事会

開催日時	協議議案	出席状況
R4.6.2(木) 13:30~14:10	第1号議案 令和3年度事業報告の承認 第2号議案 令和3年決算報告の承認 第3号議案 令和4年度定時評議員会招集の承認	理事6名 (欠席者なし) 監事2名

R5.3.23 (木) 13:30～14:55	第1号議案 令和4年度補正予算案の承認 第2号議案 令和5年度事業計画案の承認 第3号議案 令和5年度予算案の承認 第4号議案 定時評議員会招集に関する承認	理事6名 (欠席者なし) 監事1名
----------------------------	---	-------------------------

5. 評議員会

開催日時	協議議案	出席状況
R4.6.18(土) 13:30～15:10	報告事項: 令和3年度事業報告 第1号議案 令和3年度決算書類の承認	評議員7名 (欠席者なし) 監事2名

6. 主な活動

実施日	内 容
R4.4.1	南勢カトリック特別養護老人ホーム開設50周年 開設記念(永年勤続表彰・辞令交付)※御ミサ無し
5.19	会計監査(年度監査)(無藤和博会計事務所)
5.26	監事監査(年度監査)、評議員選任解任委員会
6.2	令和4年度第1回理事会
6.18	令和4年度定時評議員会
6.23・30	職員健康診断(松阪市健診センター・検診車)98名受診
6.21	資産変更登記 13億3390万2621円
7.15	地域懇談会 ※新型コロナウイルス感染状況を鑑み中止
7.23	苦情第三者委員会(上半期)※新型コロナウイルス感染状況を鑑み延期
11.17	会計監査(中間)(無藤和博会計事務所)
12.14	南勢カトリック特養ホーム 借入金完済に伴う抵当権設定解除完了
12.16	職員の子供のためのクリスマス会中止につきプレゼント配付
R5.1.1	元旦祝賀昼食会 南勢カトリックケアハウス開設30周年
1.7	松阪神楽保存会による獅子舞(ケアハウス・デイサービス・特養)
1.21	苦情第三者委員会(下半期)※新型コロナ法人内発生のため中止
3.3	社会福祉法人指導監査(松阪市健康福祉部社会福祉法人指導監査係) 監事2名講評時立ち合い
R3.4～5	春期 職員腰痛検診(宮村医院)
R3.9～10	秋期 職員腰痛検診(宮村医院)

7. 会議等

実施日	内 容
毎月1回	執行役員会議
毎月1回	管理者会議(各事業所管理者集合会議)※9月新型コロナ発生により中止
毎月1回	事務会議(特養施設長、在宅事業所長、特養事務主任、各事務担当、法人事務局)

8. 補助金・助成金

- 介護サービス事業所・施設における物価高騰対策支援補助金(三重県) R5.3.13
3,162,000円(特養1,783,000円、ケアハウス846,000円、デイ222,000円、ぬくもり153,000円、ヘルパー79,000円、居宅支援79,000円)
- R4年度新型コロナウイルス感染症流行下における介護サービス事業所等のサービス提供体制確保事業費補助金 7,150,000円(特養5,588,000円、ケアハウス1,562,000円、)
- 両立支援等助成金(新型コロナウイルス感染症小学校休業等対応コース)
4～6月4名分(157,677円)、7～9月4名分(136,912円)、12～3月4名分(110,910円)

【2】 特別養護老人ホーム、短期入所者生活介護

1. 総評

今年度は、11月に施設内で新型コロナウイルス感染のクラスターが発生し、約1ヶ月半にわたり、長期入所と短期入所をストップすることになり、収益に影響が及びました。コロナに罹患された方を施設でみなければならず、入居者様へ感染をしないように配慮し、また、職員自身も罹患するのではないかとという気持ちの中、献身的に支援をしていただき、終息を迎えることができました。今年度の取り組みの中では、看取り加算の算定を9件、実施しました。終末期を迎えられた方のご家族様の心情に配慮しながら、最期の一瞬まで、その人らしく、過ごしていただけるように努めました。また、個別機能訓練加算の算定できる体制を整えることができ、入居者様のADL、QOLの向上に努めています。来年度は、口腔ケア、水分ケア、尿路感染症の予防など、入居者様、利用者様の生活が健康で、長生きできるように支援をし、ご家族様にも安心していただけるように取り組んでまいります。

2. 職種別職員数（R5.3.31現在）

単位：人

職 種	員 数			兼務等の状況	採用		退職数	
	常勤	非常勤	(常勤換算)		常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1		1					
介護支援専門員	1		1					
ケアワーカー	29	6	33.7		3		2	2
看護師	4		4		1		1	
管理栄養士	1		1					
生活相談員	2	1	3				1	
事務員	3	1	3.6					
作業療法士	1		1		1			1
医師		3						
介助員		4						
用務員		1						
シルバー人材								

3. 特養利用状況、月別入退所状況（各月末人数）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
利用者	89	86	87	88	87	89	90	87	79	81	81	81	1025	85.4
入所	2	1	3	1	2	2	1	1	0	3	2	4	22	2.1
退所	3	4	2	0	3	0	0	4	8	1	2	2	29	2.0

4. 短期入所利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人	33	31	28	36	40	35	34	28	34	34	36	39	408
延日数	457	417	402	490	464	439	472	416	381	419	384	526	5267

5. 利用実人員（入院者を除いた数）

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
89	86	87	88	87	89	90	87	79	81	81	81	1025

6. 介護度別利用人員

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援														
要介護1	4	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	1	31	2.5
要介護2	6	5	5	5	4	5	5	5	6	6	6	6	64	5.3
要介護3	17	20	19	20	22	23	23	23	20	19	21	20	242	20.6
要介護4	38	36	33	34	35	33	35	36	35	32	33	34	414	34.5

要介護5	25	25	26	25	24	23	23	23	22	21	20	19	276	23
計	90	89	86	87	88	87	89	90	86	79	81	80	1027	85.6

7. 入退居状況

入所直近の状況	人	退所理由	人
在宅	11	死亡による	28
老人保健施設	0	在宅復帰	0
養護老人ホーム	1	長期入院	0
ケアハウス	2	他施設	0
病院	2	その他	1
短期入所継続	6		
他施設	0		

8. 利用期間状況

期間	男	女	計
1年未満	6	11	17
1年～3年未満	7	30	37
3年～5年未満	5	13	18
5年～10年未満	2	4	6
10年～15年未満	0	1	1
15年以上	0	2	2
計	20	61	81

9. 年齢・性別状況

	男性	女性
最高年齢	99	104
最低年齢	75	72
平均	91	90
全体平均	90.5	

10. 各種会議

会議名	出席者職名	実施月
役員会議	施設長	月1回
ドリームPA会議	施設長・課長	月1回
主任会議	施設長・課長・各主任・リーダー	月1回
職員会議	全職員	月1回
感染症対策委員会	施設長・課長・主任・看護師・介護職	月1回
身体拘束廃止委員会	施設長・課長・主任・看護師・介護職	1ヶ月に1回
入所判定委員会	施設長・課長・主任・看護師・介護職	随時
事故発生防止委員会	施設長・課長・主任・看護師・介護職	1ヶ月に1回

11. 研修状況

《施設内研修》

7月21日	介護予防について	24名
8月18日	食中毒について	19名
10月20日	認知症ケアについて	21名
1月19日	緊急時の対応（AED）	17名
2月16日	プライバシー保護について	20名
3月16日	看取りについて・倫理及び法令順守	18名

《スキルアップ研修》

4月21日	令和3年度の振り返り・令和4年度年間計画について	16名
5月26日	就業規則について	17名
7月21日	事故発生防止について	24名
8月18日	口腔ケア・水分ケアについて	19名
9月15日	上半期総括・下半期に向けて	17名
10月20日	感染症について	21名
12月15日	褥瘡予防について	18名
1月19日	事故発生防止について	17名
2月16日	身体拘束廃止・高齢者虐待について	20名
3月16日	身体拘束廃止・高齢者虐待について	18名

《施設外研修・オンライン研修》

7月4日～9月30日	令和4年度介護施設における安全対策担当者養成研修	1名
8月10日～9月9日	オンデマンドセミナー社会福祉法人会計「初級編」	1名
2月1日～2月28日	オンデマンドセミナー社会福祉法人会計「予算・実践編」	1名
2月9日	日本カトリック老協オンライン大会	2名

※新型コロナ感染防止の為、出張研修は派遣無しでした。オンラインでの研修のみ。

1 2. 監査・介護情報の公表調査等

受付年月日	実施主体	内容	担当者
8月31日	県集団指導	介護保険の集団監査	課長・介護支援専門員・生活相談員
11月1日	情報公開制度	インターネットにて情報公開	施設長

1 3. 苦情受付等の状況

受付年月日	苦情申立者	内容
4月1日※1	利用者様 娘様	ショートステイ退所後、ご自宅に送り届けた際、車いすの金具でフローリングの床を傷つけてしまった。 ショートステイ帰宅後の衣類の着方について、ご家族様から伝達いただいた通りに着て帰宅をしなかった。

※1：ショートステイ退所後にご自宅に送り届けた際に車いすの金具でフローリングの床に傷をつけてしまいました。ご家族様からは、他の事業所もご利用をされていますが、とても丁寧に操作をされており、対応した職員は、力任せに車いすを操作して、傷をつけてしまったのではという印象を受けました。また、ショートステイ帰宅後の衣類の着せ方についても、ご家族様からの伝達いただいた内容と違う内容で帰宅され、フローリングの傷とともに不信感を与えてしまいました。丁寧な対応は、車いすの操作だけでなく、ご家族様からの声にもしっかりと対応をしていくことを徹底いたします。

1 4. 事故・ヒヤリハット報告

事故発生日	内容
10月3日※1	特養入居者：オムツ交換時に右足に痛みがあり、受診をしたところ、右大腿骨顆状骨折と診断を受ける。(事故)

ヒヤリハット種別（年間延べ件数）※2

計 326 件

転落	転倒	座込み	外傷	誤薬	破損	紛失	異食	他害	離脱	その他
80件	69件	49件	23件	14件	6件	5件	4件	3件	3件	70件

※1：特養の入居者様のオムツ交換時に右足に痛みがあり、整形外科を受診。右大腿骨顆状骨折と診断を受けました。事故発生防止委員会を中心に検討を行い、ベッドの背上げの際に足に圧力が加わり、骨折にいたったのではないかとという見解にいたりしました。骨も脆くなっていることと足の拘縮も進んでおり、ちょっとした不可でも骨折にいたったのではないかと思います。今後は、ポジショニングに注意する等、状態観察を行った上、介助を行います。

※2：ヒヤリハットの報告は、年間で326件ございました。大きな事故にいたる前に事前に防げたものや対策をしていれば防げたものなど分析をして気づきました。小さなことでも報告をするようにと伝達をしています。その中でも、誤薬の件数が14件あり、薬効が強く出ることなく、命の危機には瀕しませんでした。一つ間違えると考えると、より、一層、注意をして服薬介助を行っていきます。

15. 行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
4月1日	開設記念日（行事食）	ご馳走を頂き皆さんで開設記念をお祝い。
9月19日	敬老行事	お祝い膳、水戸黄門に扮装し、長寿をお祝い。
12月24日	クリスマス	サンタクロースに扮装し、プレゼントを配布。
1月1日	元旦昼食会	昼食会にて新年を祝う。

16. リハビリ状況等

令和4年3月末

区分	場所	実施日	担当者	内容	人数	備考
ベッドサイドリハビリ	居室	月～金	作業療法士	機能維持訓練 環境整備	7名	対象者に 週3回以上実施
グループリハビリ	東棟1F フロアー	月～金	OT 補助	歌・体操 脳トレなど	61名	作業療法補助 出勤日に実施
OT リハビリ	機能訓練室	月～金	作業療法士	機能訓練 ADL 練習 物理療法など	28名	個人の状態により 回数は、異なる
音楽療法	東棟1階 既設棟食堂	月3回	音楽療法士 OT 補助	歌唱・体操 楽器演奏 等	71名	1グループ 10～15名 2ヶ月1回参加
口腔体操	食堂 各居室	毎日	介護職 生活相談員 看護師	口腔体操 口腔マッサー ジ 発生など	65名	対象者に 週2回以上実施

17. 施設整備状況

《物品購入》（1件10万円以上）

検収月	物 品 名	数量(単位)	税込購入費(円)	リース利用の有無
8月2日	抗原検査キット	200	286,000 円	無
8月4日	抗原検査キット	100	154,000 円	無

《整備事業》

実施月	整 備 事 業 名	税込事業費(円)	リース利用の有無
7月20日	屋上非常用発電機 制御盤取り替え工事	1,290,000 円	無
10月12日	給湯ラインポンプ取り替え	308,000 円	無
10月31日	暖房用ボイラーバーナー部品修繕	105,600 円	無
11月30日	既設棟南棟トイレ仮設給水工事	1,485,000 円	無
3月31日	既設棟南棟チェアーバス浴室給水タンク設置他工事	1,815,000 円	無

18. 事業目標に対する総括

（連携）

1. 社会人・福祉職員としての自覚を持ち、相手の気持ちに配慮した接遇を実践します。
2. 相手が受け取りやすい伝達を意識し、情報共有の漏れをなくします。

（安全）

1. 介護の基本を再確認、実践するための研修を持続的に行います。
2. 研修に基づいたサービスが提供できる体制を構築します。
3. 入居者・利用者の安全に配慮した介護を実践し、入居者・利用者・ご家族に安心を提供します。
4. B C P（業務継続計画）を策定し、研修・訓練を行います。

(地域交流)

1. ほっと一息・予防教室等、地域交流事業に様々な職種が参加出来る機会をもち、施設全体ですみよい地域作りに貢献します。
2. 災害発生時に福祉避難所としての役割を果たせるように体制の構築を行います。

(連携)

各部署間、各事業所間において情報の共有、伝達が滞り、支援に支障が出た場面もみられました。口頭だけでなく、書面にも残し、情報の漏れをなくすようにしましたが、業務過多になったり、精神的に余裕がなくなってくると漏れもみられました。

(安全)

スキルアップ研修、施設内研修等で、各委員会を中心に介護の基本について、見直す研修を実施しました。ヒヤリハット報告書を提出していただき、状態の共有に努めております。引き続き、入居者様、利用者様に安心と信頼を提供できるように努めてまいります。

(地域交流)

コロナ禍のため地域に出向いくことは、限られていましたが、参加をさせていただいた際には、地域の方々と触れ合うことができる貴重な時間となりました。面会についても窓越し面会というかたちで、感染対策を実施し、入居者様とご家族様との時間を大切にいたしました。

《介護》

【南棟目標】

(連携)

- ・日報ファイルで棟内情報共有を完結できるように整え棟内での情報共有を徹底します。

(安全)

- ・棟職員誰もが事故報告、ヒヤリハットの解決案を提案、実行できるようにし再発防止、早期解決を目指すようにします。

(連携)

- ・日報ファイルを活用し、棟内の情報共有に努めました。勤務の都合上、すれ違いも生じることもあり、入居者様の支援にムラができることもありましたが、来年度は、しっかりと情報の共有を行います。

(安全)

- ・大きな事故につながらないように対策を立て実行をしました。日々の中では、大きな事故にいたらないが軽微な事故は、発生しています。大きな事故にいたる前に軽微な事故でも対策をとり、入居者様の安全につなげたいと思います。

【中央棟目標】

1. 利用者様1人1人の尊厳を保ち、安全の確保に努め、相手の気持ちに配慮した接遇を行う。
2. 定期的にレクリエーションを開催し、利用者様に楽しい日々を送っていただく。

1. 令和4年度は、言葉遣いに気をつけて接遇を行うことを意識して業務にあたるように心がけました。しかしながら、全員で意識して接遇ができていたかという点でできていなかったところもありましたので、今後も継続し、意識をして、取り組んでいきたいと思っております。
2. カードを用いたレクリエーションや春には、桜の木を壁面飾りとして作成しました。夏には、映写機を使用して、夏祭りの映像を楽しんでいただきました。季節にあわせたレクリエーションを実施し、利用者様に楽しんでいただきました。

【北棟目標】

1. 利用者様に敬意を持ち1日1日を充実できるよう努め大切にします。
2. 利用者様に明るく穏やかにあいさつをし、介助を行う前に、声掛けを行います。

1. 利用者様の ADL によっては、長時間の離床が難しい方もいらっしゃいますが、桜を見ていただいたり、日光浴をしていただいたりと無理のない範囲でベッドから離れる機会を持ちました。
2. 特養での生活にメリハリをつけるために利用者様に明るく穏やかにあいさつを行いました。基本的なことですが、利用者様への介助を行う際に声をかけ、確認してから介助を行うことで安心をして頂けたのではと思います。

【東棟目標】

1. 相手の気持ちに配慮した接遇の実践を行います。
2. 情報共有の漏れをなくします。

1. 利用者様のお名前を呼ぶ時に「さん」付けて呼ぶことで良い距離感で接することができたと思います。「さん」付けを続けることで、職員の態度も変わってきたように思います。
2. ノートを活用することやお互いに声を掛け合うことで、情報の漏れを少なくできたように思います。職員間のコミュニケーションを引き続き充実させていきたいと思っています。

【看護部目標】

(安全)

1. 褥瘡等の処置は、利用者様が不全な体位にならないよう、また、苦痛を最小限に抑えられるよう部位によっては、2名以上で行います。
2. 利用者様の血液、浸出液からの感染を防ぐため感染対策を強化します。

(連携)

1. 各部署間の報告、連絡、相談が一方通行にならないよう医務室と相談員間の連携票を提案し、確実に行われるようにする。

(地域交流)

1. コロナ禍であり、感染防止対策の観点から、地域とのかかわりが困難なため、ショートステイ利用者様、ケアマネジャーやご家族様とのかかわりを持ち、ショートステイご利用中、快適、安全に過ごしていただけるように努めます。

(安全)

1. 基本的に処置は2名以上で行うように意識し、実践できているが、軽微な処置など1人で実施することが上半期はみられた。下半期は看護部内で報告を徹底し、処置を実施する際に確認する体制を整えることができました。
2. 基本的に処置等を行う際は、手袋の着用を意識して行いました。手袋を着用せずに採血を実施する場面もみられましたが、職員同士で確認することで、下半期は手袋を着用の上、処置等を実施することが徹底できた。

(連携)

連携が一方通行になってしまうことがあったため、連絡票を確実に利用し、連絡の漏れがないように努めました。しかし、口頭だけのやり取りになることもあり、後日、確認が取れないこともありました。今後も、連絡票を活用することを徹底することで伝達の漏れがないように努めます。

(地域交流)

看護部から、直接、利用者様の担当ケアマネジャーやご家族様への連絡等を実施する機会はなかった。今後、必要時に医療的なことについての報告、提案を相談員と連携して、行っていきます。

【事務部目標】

(連携)

- ご利用者、職員の窓口として施設の円滑な運営の為に人と人との関係を大切にします。
 - ・相手が丁寧だと感じる仕事を心がけます。
 - ・コミュニケーション（言葉使い、表情、振る舞い）を大切に、働きやすい職場作り努めます。
 - ・言いにくいことでも言わないといけないことは笑顔ではっきり伝えます。

(安全)

- ご利用者の安全確保に努めます。
 - ・施設内の環境整備を計画的に行い、ご利用者、職員の安全確保に努めます。
 - ・ミスを省みて、ミスを認めあえる部署を目指すことで繰り返しを防ぎます。

(地域交流)

- 地域交流事業に積極的に参加し、南勢カトリックのファン増加に努めます。

(連携)

事務部内においては積極的に声かけ、コミュニケーションを取り、連携が取れました。ただし、フロントの仕事である以上、電話対応や面会等、利用者様の状態や相談支援に関する仕事内容にも答えられないといけない場面があるため、他部署とも連携を密に取り、円滑な業務を遂行できるように努めます。

(安全)

施設内の計画的な環境整備については、まだまだ十分とは言えない部分があります。特に修繕や入れ替えに大きな金額のかかるものについては、滞りなく行えるよう、計画を立て、事前に年度予算に計上できるように取り組みます。年 1 回の固定資産棚卸の時などに対応年数の状況や不具合が出ていないかなどを管理、確認を行っていきます。細かな環境整備についても、都度、報告をし、職員、ご利用者様の安全の確保に努めます。

(地域交流)

新型コロナウイルス感染拡大もあり、ほっと一息や奉仕作業などに参加する機会は少なくなっていました。来年度はより活発な地域交流は可能になると見込まれるため、参加できるものには積極的に参加していきます。

【相談支援部目標】

(連携)

1. 相手を気遣った丁寧な対応を心がけ、相談しやすい雰囲気です。
2. 部署内の声掛けを意識し、速やかな情報共有を行い、伝達漏れを防ぎます。

(安全)

1. 研修への積極的な参加で基本を繰り返し学び、共有し、部署のレベルアップを図ります。
2. 研修での学びを、部署内で共有・実践する仕組みを作り、達成状況を確認し合います。
3. 入居者様に応じたケアを介護現場と共有し、ご家族へのこまめな連絡を行うことで、安心できる施設を目指します。
4. BCP策定・研修・訓練に関わり、部署全体が即時対応できるよう努めます。

(地域交流)

1. ほっと一息等、地域交流の場に積極的に参加します。
2. 福祉避難所としての役割を認識し、体制作りに関わります。

(総括)

ご家族様からは、「話しやすい」との声をいただくこともあり、相談しやすい雰囲気づくりに一定の評価をいただきましたと思います。特養で、新型コロナウイルスのクラスターが発生時には、ご家族様へ日々の連絡を行ったことで、不安の軽減になったのではないかと感じました。

入居者様への対応については、改善すべき点もみられ、今後の課題です。

部署内では引き継ぎシート・経過記録の活用により、共有を心がけました。他部署との連携においては、書面や直接のやりとりで、行き違いのない情報伝達を心がけました。その中でも、伝達漏れや共有できないことがあり、他部署、ご家族様へご迷惑をおかけすることもありました。今後も、スムーズに漏れのない情報共有に努めたいと思います。

【3】デイサービスセンター（通所介護・総合事業 第1号通所事業）

1. 総評

○一年間の概況

年間稼働率67.5%【R2年71.9% R3年70.1%】

新規利用者数25名 登録抹消者数30名

春から徐々に稼働率が上がり、10月によりやく目標とする月間収入に到達しましたが、11月のコロナ発生から一気に下降線を辿り一年間を終えてしまいました。

もともと重度の方が多く利用されていたこともあり、コロナの影響以外にも入院や入所などで登録抹消者が例年より増加しました。

○良かった点:デイサービスのリニューアルと題して他事業所も交えグループワークを実施しました。そこで出た意見として機能訓練の強化や給茶機の導入、短時間利用の推進などの取り組みをスタートさせることができた。

○今後の課題:短時間利用者の取り込みが上手く進められていると思いますが、それと同時にいかに収入を増やせるかも考えていく必要があります。短時間利用者が一日利用を希望するような取り組みを考えていくことも必要かと思ひます。

2. 職種別職員数

単位:人

R5年3月末現在				兼務等の状況	R4年度実績			
職種	員数				採用		退職数	
	常勤	非常勤	(常勤換算)		常勤	非常勤	常勤	非常勤
事業所長	1							
介護職	5	3	(2.6)	生活相談員			1	
看護師	1	4	(2.4)	機能訓練指導員		1		
生活相談員	3							
事務員	1							
機能訓練指導員	1	4	(2.4)					
運転士		1		シルバー人材			1	
用務員		1					1	

3. 利用状況、月別入退所状況（各月末日数）

単位:人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
延利用	518	560	584	570	585	590	578	458	516	390	435	490	6,274	523
新規利用	3	1	2	4	4	1	1	1	3	0	1	3	24	2
利用中止	3	1	1	2	3	1	2	3	5	4	3	2	30	2.5

4. 地域別利用者分布（R5.3.31現在）

地区名	人数
伊勢寺、岩内、美濃田	12
大阿坂、小阿坂	23
深長、八重田、曲	11
その他	24
計	70

5. 営業日数・・・11月と1月はコロナによる営業中止が合計8日間ありました。

単位:日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	26	26	26	27	26	26	20	24	21	24	27	299

6. 利用実人員

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
52	51	53	56	58	60	60	64	62	53	57	60

7. 要介護状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比 (%)
現行相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	14	12	12	14	6	13	8	5	8	8	8	18	126	10.5	2.0
要支援2	14	12	10	8	6	7	11	8	12	13	23	29	153	12.8	2.4
要介護1	177	179	198	194	206	194	200	149	152	101	112	118	1,980	165	31.6
要介護2	140	164	163	142	161	126	119	100	126	87	100	114	1,542	128.5	24.6
要介護3	110	127	122	113	104	130	131	112	110	78	89	97	1,323	110.3	21.1
要介護4	51	48	55	71	71	94	84	64	83	82	74	90	867	72.3	13.8
要介護5	12	18	24	28	31	26	25	20	25	21	29	24	283	23.6	4.5
合計	518	560	584	570	585	590	578	458	516	390	435	490	6,274	523	100

8. 施設内研修

《デイサービス リニューアルに向けてのグループワーク》

開催年月	参加職員	特記事項
7/23	法人職員、在宅4事業所職員	コロナ感染対策のため書面で「理想とするデイサービス」について意見を集める
8/5	法人職員、在宅4事業所職員	4つのグループに分かれ、各グループで出た意見について話し合う
8/26	法人職員、在宅4事業所職員	各グループで模造紙に集約し発表を行う

9. 施設外研修

研修名	主催	開催年月日	開催場所	参加職種
R4 年度介護保険等サービス事業者集団指導【動画視聴】	三重県健康福祉部 福祉監査課監査班	4/8 まで	デイサービス	センター長
安全運転管理者研修	三重県安管協議会	4/8/4	華王殿	センター長

10. 監査・介護情報の公表調査等

受付年月日	苦情申立者	内容	担当者
R4/9	介護情報の公表	パソコンでの更新	センター長

11. ほっと一息

月日	地域	年月日	地域	年月日	地域
4/13	深長	5/14	大阿坂 中止	6/4	八重田
6/30	美濃田	7/13	深長	9/10	大阿坂 中止
11/9	深長	11/12	大阿坂 中止	11/25	川井町
12/10	八重田	3/4	八重田	3/8	深長

*コロナの影響もまだ見られたため、開催できない地区もありましたが、それ以外は概ね予定通り実施することができました。

12. 苦情受付状況

受付年月日	苦情申立者	内容
①R4/7/11	長男様	静養時の対応について
②R5/2/25	夫様	車いすブレーキの歪みについて

○改善状況

- ①圧迫骨折され一か月が過ぎた時に「ぼちぼち動いてもらってもいいんじゃないでしょうか？また先生に聞いてきてくださいね。」とお声かけをしたが、一か月经過したらリハビリして動かした方が良いと言われたとこの時のやり取りについて不満を述べられ苦情に繋がった。
- ②デイサービス帰宅時に車いすのレバーが歪んでいることをご主人様に報告した。朝は何ともなかったが「謝罪するも・・・原因は分からないんです。」と伝えてしまったことが苦情に繋がった。

13. ヒヤリハット状況

受付年月日	内容
R4/4/7	バイタル測定未実施であったが入浴をしてしまった。(着衣時に気付く)
R4/4/13	デイ前の花壇付近に立っているのをヘルパーさんが発見。(換気対策でドアを開けていた)
R4/4/15	助手席利用者が降車しドアを閉めた時に後部座席から降りようとした利用者の指を挟んだ。
R4/4/19	見守りが必要な方であったが、目を離した隙に立ち上がり転倒される。怪我はなし。
R4/5/20	降車時にお待ちくださいねと声掛けするも自分で動かれ座りこまれてしまう。怪我はなし。
R4/5/20	創作レク中に床に落ちた折り紙を拾おうとされ滑り落ちる。
R4/5/25	利用者がシルバーカーで他利用者の足を踏んでしまう。
R4/5/28	ティッシュを口の中に入れているのを発見。
R4/6/4	シルバーカー歩行中に膝折れし転倒される。
R4/9/2	助手席の利用者様がドアを閉めた際に後部座席に乗り込もうとした方の指を詰めてしまう。
R4/9/20	昼の内服介助後に朝と記入された薬である事が分かった。(家人入れ間違い)
R4/9/20	車いすからの立ち上がりにて転倒。ケガはなし。
R4/9/22	車いすへ移乗した際に左側のアームサポートを閉め忘れてしまう。
R4/9/28	入浴後に脱衣室で足を滑らせ転倒しそうになる。
R4/10/6	車いすで体勢を整える介助を怠ったためお尻から出血させてしまう。
R4/10/7	リフト車の階段が登り切れずゆっくり座りこまれる。
R3/10/10	玄関から出ていかれる。(本人は散歩に行こうとされていた)
R4/11/2	送迎車両から降り、シルバーカーを手にとって動き出される時にバランスを崩され転倒される
R4/12/15	入湯中に足を伸ばされ首までお湯に浸かっているのを発見
R4/12/15	椅子から転落。動作がゆっくりだったため怪我なし
R5/1/12	ティッシュをちぎって食べているのを発見する
R5/2/3	自宅の鍵を庭に落とした。(キーホルダーから外れたため気付かなかった)
R5/2/13	朝の迎え忘れ。
R5/2/24	入浴後に誤って着て来た服を着用したため着替えができていなかった
R5/3/8	荷物の入れ間違い(別の利用者のものが入っていた)
R5/3/29	送迎車両での転倒

転倒事故は変わらず見られているが、異食行為が2回やコロナ感染対策のため換気していた玄関からご利用者が外に出てしまわれる行動も2回見られました。それぞれ対策をとることでそれ以降は問題なく過ごされています。

14. ありがとうメッセージ

受付年月日	申し出者	内容
4/8/15	ご本人様	ご家族からは短時間利用の意向であったが、本人は一日利用を希望。 「ここに来ると家族に気を使わなくて良いしお風呂から食事やら何もかも世話になって私は幸せですわ。」と繰り返しお話される。また定期的にデイサービスを利用することで外出する機会が持てたことにありがとう
4/10/24	娘様	体験利用後の第一声が「お風呂・・・気持ちよかったわー」この一言で利用してくれると確信しました。ご飯も美味しく職員さんもよくしてくれるので世話にならんで良いようにしようと思っている。 デイでの自転車こぎも楽しみです。
4/12/19	娘様	週4回利用していましたが、デイ利用翌日入院し、その二日後に苦しむことなく人生を全うしました。最期までお世話になり幸せな日々を過ごすことができました。おばあさんに代わって“ありがとう”

15. リハビリ実施状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	316	354	361	339	349	334	324	256	296	209	268	303	3,709

約6割の方が訓練されています。11月から少しずつですが、作業療法士の先生による専門的なプログラムのもと訓練が受けられる形を作りはじめています。

16. 行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
8/10～8/13	夏祭り	射的・輪投げ・お菓子釣り等
9/19～9/24	敬老週間	タオルのプレゼント
10/5～10/8	運動会	菓子食い競争・玉入れ・大玉転がし等
12/21～12/24	クリスマス会	R3年スライド・感謝状授与・キャンドルリレー等

＊新型コロナウイルスの影響を鑑みお花見、ミカン狩りは中止。

17. 施設整備状況

◇ 整備事業

実施月	整備事業名	税込事業費（円）	リースの有無
3.5	利用者トイレ小便器修理	13,090 円	無
5.10	タウンエースリフト昇降部ワイヤー修理	118,690 円	無
4.10.27	身体障害者用トイレ工事（様式トイレへ）	385,330 円	無

◇ 物品購入（1件10万円以上）

検収月	物品名	税込み購入額	リースの有 無
4.5.12	バリアフリー体重計	202,400 円	無
4.12.20	ティサーバー	年間 58,000 円×飲料費	有

18. 事業目標に対する総括

1. 連携・チームワークの強化を目指します。

①チームの一人である意識を持ち、報・連・相に努めます。

＊報・連・相一見難しくないように感じますが、どうしても抜けがありました。

＊とにかくご利用者で知っていた情報は職員間で共有するために細かいことも報・連・相を意識して仕事に当たりました。

②小さなことでも記録やメモに残すことで「聞いていない」を減らします。

＊大半の職員に言えることでしたが、カンファレンスノートの見落としから情報が入手できていないという事が多々ありました。

＊職員の口から、その話はカンファレンスで出た？という声が出るようになったことは素晴らしい事だと実感しました。それだけ意識が強くなっているという事だと思います。

③プロ意識を持ち、自分の行動に責任を持って業務を行います。

＊自分にできることは責任を持って行えた。分からない点も確認しながらきちんと行えた。

＊プロ意識を持つには向上心を持って日々学ぶ姿勢も必要。そういう点ではまだまだこれからだと思う。

2. 安全・個を大切に・心を満たすサービスを提供します。

①正しく感染症を理解することで感染症の予防に努めます。

＊コロナ感染症により8日間事業を閉めました。発熱はないが咳や鼻水などの症状が見られる方などへの対応が難しかったです。現にここから感染が広がったと推測できますが、症状が言え

る方ばかりではない為、センターに来てからその症状が発覚するなど対応が難しかったです。

②ヒヤリハットを定期的に見直すことで予防に努めます。

※ヒヤリハットを書く意識は皆が持てるようになってきた。細かい事でも自ら書こうとする意識付けが出来てきていると感じる。

※見直しができる工夫が必要だと感じます。ファイルに閉じているだけだと難しいとも感じます。

③利用者様の既往歴や状態の把握をして変化に気付けるように備えます。

※職種により違いはありましたが、情報のやり取りはコミュニケーションを取ることで対応できました。入れ違いでコミュニケーションを取ることが出来ない時は記録で情報が共有できるように努めました。

3. 地域交流・地域とのかかわりを持ちます。

①ほっと一息参加時にデイでの経験を生かします。

※コロナ感染症のために中止になる地域もあり、参加できた職員は限られていました。それでもデイ職員は体操などを担うことが多く、デイでの経験を生かすことができました。

たくさん参加したいという職員もいましたし、コロナで実施できない時期もあったからこそこの一年は特にほっと一息事業の大切さを改めて感じました。

②南勢カトリックを知ってもらえるようにアクションを起こします。

※新しい取り組みなどはできませんでしたが、ほっと一息新聞を作成し配布できたことで繋がりが強くなったと感じます。

ある地区ではカトリックさん以外にもこうやって交流させてもらう施設はあるが、カトリックさんの時が一番地域の方の参加率が高い。という誉め言葉をいただきました。

【4】ホームヘルプサービス（訪問介護、総合事業 訪問型サービス）

1. 総評

＊当初予算に対し稼働率 95% 訪問回数月平均 500 回（R3 年度：503 回／月）

前年度に比べケアハウスの介入（要介護者）が増加傾向です。

支援の内訳は身体介護 37%、身体＋生活 35%となっています。

＊年度上半期はシフトの空きが多かったため、ぬくもりの家で非常勤ヘルパーが勤務できるような協力体制で助けていただきました。

＊11 月から 1 月にかけてはコロナ感染症の影響（ショート延長で介入がキャンセルになった、ケアハウスの介入が中止になった）があり、訪問キャンセル回数 247 回、金額で約 82 万円の減収となり大きな痛手でしたが、9 月・10 月・3 月は売上月目標を達成することができ良かったと思います。

2. 事業実施地域（令和 4.4.1～令和 5.3.31）

小阿坂町	7	大阿坂町	1	伊勢寺町	6	深長町	3	岩内町	1
井村町	3	桜町	1	大黒田町	2	川井町	3	美濃田	6
大津町	3	大河内町	1	鎌田町	1	日丘	2	野村町	1
西之町	1	春日町	1	新町	1	嬉野町	8	ケアハウス	23
								合計	75

＊年間を通し 19 の地域 75 名の方々への訪問がありました。

3. 職種別職員数（令和 5.3.31 現在）

（ ）内人数は再掲人数

	常勤	非常勤	常勤換算	兼務状況	採用	退職
管理者	(1)			サービス提供責任者		
サービス提供責任者	2					
訪問介護員		3	(3.0)			

4. 利用状況、訪問回数

単位:回

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
要介護	389	394	361	394	421	438	500	388	356	389	425	485	4940
総合事業	64	68	59	60	49	52	52	43	40	38	40	47	612
乗降介助	33	31	49	39	38	35	36	25	28	18	30	25	387
初回・緊急加算	4	1	6	3	3	4	3	1	5	4	0	4	38
有償ケア	1	1	2	3	3	3	2	2	1	1	2	1	22
有償輸送	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
合計	491	495	477	499	514	532	593	459	432	450	497	562	6001

5. 営業日数

単位:日

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
30	31	30	31	31	30	31	30	29	28	28	31	360

6. 利用実人員

単位:人

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
49	47	50	51	50	53	56	51	52	49	50	52	610

7. 要介護状況

単位:人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 1	4	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	2	26
要支援 2	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	62
要介護 1	17	16	20	18	19	17	18	16	18	15	14	16	204
要介護 2	9	12	12	13	15	18	18	17	15	14	14	13	170
要介護 3	6	5	2	2	3	5	5	4	4	5	6	6	53

要介護4	4	3	4	4	2	2	3	3	3	3	5	5	41
要介護5	3	2	3	4	3	4	5	4	4	3	3	3	41
未認定	0	0	1	2	1	0	0	0	2	3	2	2	13
合計	49	47	50	51	50	53	56	51	52	49	50	52	610

8. 利用期間状況（令和 5.3.31 現在）

単位:人

期間	男	女	合計
1 年未満	3	12	15
1 年～ 3 年未満	4	20	24
3 年～ 5 年未満	4	3	7
5 年～10 年未満	1	5	6
10 年以上	0	0	0
合計	13	40	52

9. 年齢別状況

	男性	女性
最高年齢	97	97
最低年齢	76	57
平均	84.7	84.2
全体平均	84.3	

10. 施設内研修

《自主研修会》

実施日	内容
R3.5.31	ヒヤリハットについて
R3.8.12	買い物支援時の対応について
R3.9.18	介護現場で役立つ調理実習 ～管理栄養士監修～
R4.11.30	緊急時の対応
R4.1.13	認知症について

11. 施設外研修

実施日	内容
R4.8.30	令和 4 年度サービス事業者集団指導動画視聴及び自己点検表提出

12. 監査・介護情報の公表調査等

実施日	名称	内容	担当者
R4.9.27	介護サービスの情報の公表	パソコンで入力	角野

13. ほっと一息

実施日	実施地域	参加職員
5 月 14 日(土)	大阿坂地区	中止
6 月 30 日(木)	美濃田地区	前田
7 月 13 日(水)	深長地区	角野
11 月 12 日(土)	大阿坂地区	中止
12 月 10 日(土)	八重田地区	新田・松本
12 月 14 日(水)	美濃田地区	中止

*コロナ禍で中止もありましたが、慎重な感染対策のもと地域との交流に3回参加することができました。

14. 苦情受付状況・「ヒヤリはっと」状況

受付日	ヒヤリはっと内容
R4.5.11	掃除支援中に立てかけてあった傘が倒れ柄が欠けてしまった。
R4.5.27	口腔ケアをした後コップと歯ブラシを元の場所に戻し忘れた。
R4.7.23	買い物代行時、手羽元と手羽先を間違えて購入した。
R4.7.27	ケアハウスの入浴介助の際居室に忘れ物を取りに戻っている間に一人で入浴してしまった。

R4.7.28	買い物代行時、利用者から預かった WAON カードの入ったポーチを持っていくのを忘れた。
R4.8.4	ヘルパー利用料金の領収書に領収印ではなく自分の印鑑を押して渡してしまった。
R4.8.28	掃除支援中に利用者が膝まずいて転倒した。
R4.10.27	買い物代行時、時間がおしてしまいマーガリンを買い忘れた。
R4.11.3	買い物代行時、購入メモの裏側にも記入してあるのを気づかず購入できなかった。
R4.11.11	受診の院内付き添い時、カバンを持っていくのを忘れ診察代金が支払えなかった。
R4.12.11	掃除支援中に利用者が転倒した。
R4.12.28	ケアハウスでの入浴介助時、浴槽内で立ち上がる際に身体が浮いてしまった。
R5.2.1	独居の方への訪問終了時、勝手口の施錠を忘れた。
R5.2.3	買い物代行時、購入品を記入したメモとバインダーを店のカートに忘れた。
R5.2.16	敷パット交換時、ベッド上の物を移動したまま元に戻すのを忘れた。
R5.2.20	ケアハウスでの入浴介助時、浴槽で浸かっているときに身体が浮いてしまった。
R5.2.24	浴室で足浴を行った後、湯を一気に流し脱衣室へあふれてしまった。
R5.2.27	買い物支援から戻ると居室内で利用者が転倒していた。
R5.3.2	買い物代行時、歯磨き粉のGUMを勘違いしてガムを購入した。
R5.3.2	調理支援が終わり皿を洗っていたら割れてしまった。
R5.3.10	ケアハウスでの入浴介助時、浴槽内で移動の際に身体が浮いてしまった。
R5.3.15	掃除支援中に歩行器で移動された利用者が転倒した。
R5.3.20	ヘルパー車で移動の際車のタイヤホイールを擦って傷がついてしまった。
R5.3.27	新規で介入が決まった方の予定をシフトに入れ忘れ介入を忘れていた。

＊入浴介助時のヒヤリハットが4件、転倒されるケースが4件ありました。下肢筋力の低下がみられており重大事故に繋がりがかねないため介助方法について話し合い事故防止に努めました。買い物支援では同じ方に複数回買い間違いや買い忘れがありご迷惑をかけてしまいました。新たに買い物メモを作成し買い物代行前には購入品の確認を徹底することで再発防止に努めています。書面ではあがっていても苦情に繋がりがかねない事例もあり気を引き締めていきたいと考えます。

15. ありがとうメッセージ

受付日	申し出者	内容
R4.8.26	娘様	毎週足浴をしてもらっており先々は入浴支援に繋がればと思っていたが頑なに拒否し続けていた。この夏二度だけですがシャワー浴をすることができ記念すべき日となった。「長生きして良かった。気持ちのいい体験ができた」と喜ばれた。
R4.11.17	息子様	何人か交代で入ってもらっているが誰もがとても良くしてくれ感謝している。自分たちの心が折れそうになった事もあるがヘルパーさんは寄り添ってくれていると感じる。お世話になりながらできる限り家で見ていきたいのでよろしく願います。
R4.11.18	息子様	ヘルパーさんに来てもらっている時に状態が悪くなり救急車の要請や心肺蘇生の処置をしてくれとてもありがたかった。普段から関わってもらっているヘルパーさんが介入している時を選んで逝かれたのかと思う。
R5.3.29	ご本人	夫のオムツのゴミが重くて腕を痛めてしまい、ヘルパーさんを頼むことになった。ゴミを出してもらっただけでありがたいが優しい言葉に救われている。年をとって弱ってくると優しく声を掛けてもらっただけで本当にうれしいと感じる。カトリックを選んでよかった。

16. 整備事業・物品購入

《整備事業》

実施月	整備事業	税込事業	リース利用の有無
R4.9.2	FAX修理	69,960 円	無し
R4.9.6	車検(三重 580 ね 8738)	86,086 円	無し
R4.9.8	バンパー修理(三重 581 こ 6867)	30,000 円	無し

17. 事業目標に対する総括

1. 向上心を持ち連携を意識して行動します。

＊各自知り得た情報はその都度報告しあう事が定着しており関係部署への報告連絡も自主的に行えるようになってきました。口頭での報告で終わっていることが多かったので、今後は記録に残し後でも確認

できるようにしていきたいと思います。きちんと引継ぎができることで次の支援がスムーズに行えています。

- * 自己チェックで自分自身を振り返り苦手とする所の理解に努めました。結果を反映しているところまでは言えないためひとつずつでも改善できるようにすることが今後の課題だと感じます。

2. 利用者第一の精神で努めます。

* コミュニケーションを取るのが難しい利用者様もみえますが、おおむね良好な関係性を築くことができました。利用者様やご家族の思いを汲み取れるよう支援中でも会話を大切にしました。気持ちに寄り添った支援に努めることができていると思います。

- * ヒヤリハットを皆で共有しそれぞれがリスクを考えて支援することができています。大きな事故に繋がることなく一年間を過ごすことができました。

3. 人との繋がりを大切にし地域の情報に耳を傾けます。

* コロナ禍の影響もあり地域との交流の機会は少なかったですが、初めてほっと一息に参加できた職員もあり貴重な機会を有意義なものにできたと思います。

- * ほっと一息に参加してくださっている地域の方からカトリックを利用したいと言っていただきサービス開始となりました。地域貢献事業で蒔いた種が芽を出してくれたので、大きく実るよう心に寄り添ったサービス提供に努めていきます。

【5】居宅介護支援事業所

1. 総評

＊介護保険が始まって以来の決算収支実績だったと思います。

1年を振り返ると新規相談に追われると同時に、在宅生活継続のケアプランを作り続けた結果が、収益に大きく貢献できたと思います。

入院しても在宅で・・・転倒しないケアプラン・・・一人一人に向き合う支援・・・等、本来の介護支援専門員の資質を生かした支援だったと思います。

＊又10月には、行政の指導監査が5年ぶりにありました。軽微な指導はありましたが、プラス面での評価が多く「参考にさせていただきます」とほめていただきました。

＊そして何より職員が、一人も退職することなく年度末を迎えることが出来た事は、事業所にとって何にも勝る評価点であったかと思います。

2. 活動区域別状況

単位:人

小阿坂町	43	伊勢寺町	35	日丘町	10	深長町	24	岩内町	5
八重田町	13	大阿坂町	22	小野町	4	美濃田町	12	野村町	1
川井町	7	嬉野町	25	大黒田町	6	中町	1	石津町	1
矢津町	3	久保町	3	藤の木町	1	塚本町	2	魚町	1
上川町	1	大津町	4	小片野町	1	鎌田町	2	笹川町	3
新町	2	船江町	2	射和町	1	中央町	2	星合町	1
虹ヶ丘町	1	殿町	2	桜町	2	垣鼻町	3	上ノ庄	1
宝塚町	1	光町	2	大河内町	2	岡山町	1	小野江	1
田村町	1	春日町	2	内五曲町	1	山室町	2	山添町	1
阪内町	1	茅原町	1	五月町	1	井村町	1	宮町	1
出曲り	1	平成町	1	平生町	1	清生町	1	松崎浦町	1
								ケアハウス	23

＊55 町・年間 294 名の利用者さんとの関わりがありました。

3. 職種別職員数 (令和 5.3.31 現在)

単位:人

	員数			兼務
	常勤	非常勤	常勤換算	
在宅事業所長	1	0		介護支援専門員
管理者	1	0		主任介護支援専門員
介護支援専門員	4	1	(1.0)	1名主任介護支援専門員兼務

＊経験豊富な平均年齢 57 歳 主任介護支援専門員が 3 名となりました。

＊新しい職員採用が必須となってきています。

4. 利用状況

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	58	65	59	56	47	50	50	53	53	49	52	55	647
介護	148	151	151	156	162	166	170	171	159	158	158	163	1913
合計	206	216	210	212	209	216	220	224	212	207	210	218	2560

＊予防(事業対象も含む)平均 54 件 介護の平均 159 件となりました。

5. 要介護状況

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	15	14	14	15	14	14	13	13	14	12	12	13	163
要支援2	17	19	18	17	14	15	14	14	13	12	14	13	180
事業対象	26	32	27	24	19	21	23	26	26	25	26	29	304
合計	58	65	59	56	47	50	50	53	53	49	52	55	647

要介護1	67	63	68	70	69	78	82	82	76	72	75	75	877
要介護2	37	44	40	41	44	42	41	42	43	42	40	40	496
要介護3	28	29	30	27	30	28	31	31	28	30	29	27	348
要介護4	13	12	11	15	16	15	13	13	11	13	14	20	166
要介護5	3	3	2	3	3	3	3	3	1	1	0	1	26
合計	148	151	151	156	162	166	170	171	159	158	158	163	1913

＊要介護4・5の人数をキープしたいが、入所希望が多くロングスティから入所に切り替わるケースが殆どである。

＊新規相談が3月追い込みで増え目標に近づける事はできました。

6. 利用期間状況 (R3.3.31 現在)

単位:人

期間	男	女	合計
1年未満	15	23	38
1年～3年未満	16	47	63
3年～5年未満	13	34	47
5年～10年未満	8	41	49
10年～15年未満	3	13	16
15年以上	0	5	5
合計	55	158	218

＊介護保険始まって以来の方が数名ご利用いただいております。

7. 年齢別状況

	男性	女性
最高年齢	97	103
最低年齢	57	57
平均	83.6	88
全体平均	87	

8. 相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実相談	236	214	215	221	238	204	236	207	306	215	234	211
(新規)	5	4	7	1	6	5	3	3	4	6	7	5
継続相談	286	291	316	391	344	325	343	372	350	292	316	331

＊10月あたりから新規相談が減少し年度末どうしようかと途方に暮れた時期もあったが、2月3月と新規が増え目標に近い数字まで伸ばすことが出来ました。

9. 相談状況

単位:件

	訪問	来所	電話	合計
モニタリング	2172	0	60	2232
実態把握	969	8	695	1672
医療連携	35	0	212	247
介護者相談	327	7	637	971
サービス相談	848	10	1155	2013
住宅改修・福祉用具購入	371	3	262	636
虐待発見相談	1	1	8	10
成年後見・権利擁護	0	0	0	0
苦情受付・相談	8	0	6	14
書類の申請代行	151	0	47	198
その他	163	17	478	658
合計	5045	46	3560	8651

10. 加算状況

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回	5	6	6	11	5	7	9	9	3	2	5	7	75
予防初回	1	1	0	0	0	1	1	3	2	2	2	4	17
医療連携Ⅰ	3	4	2	4	2	2	7	5	7	4	4	5	49
医療連携Ⅱ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退院・退所	0	2	2	0	3	1	0	2	0	0	0	1	11
緊急カンファ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定Ⅱ	148	151	151	156	163	167	170	171	159	158	158	163	1915

11. 施設内研修

《交流研修プロジェクト 特養～在宅へ》

＊令和3年度の後半より実施していない。在宅で研修を行っても特養に戻っても発揮できていないし、研修を受けた熱い思いは、特養で消されてしまい退職する人が増えたためです。

《自主研修会・在宅事業部自主研修会》

実施日	研修内容	担当
4月 2日	令和4年度役割分担や情報共有	島田
5月 7日	事例検討会 老健退所に伴う今後の在宅生活について	島田
6月 4日	事例検討 ネグレストとも言いかねない老々介護	金児
7月 2日	事例検討 妻が疾患を抱えながら要介護1の夫の介護を行っているが負担が大きい	川北
8月 6日	中止	
9月 3日	中止 職員コロナ感染の為	
10月 1日	実地指導の準備 (提出書類作成)	
11月 5日	事例検討 貯金が足りず今後のケアハウスでの生活が心配される事例	谷口
11月10日	三法人事例検討会(なでしこ・さわやか・南勢カトリック) 金銭管理に危機感なく何度も詐欺にあっている独居の女性	島田 谷口
12月 3日	中止	
1月 7日	中止	
2月 4日	事例検討 転倒を繰り返す方に対するアプローチ	谷
3月 4日	令和5年度 事業計画及び役割分担について	島田

＊三法人の事例検討も定期的に行われ事業所自身の研修も事例検討を中心に行った。

12. 施設外研修

《三重県及び松阪市主催》

実施日	研修内容	開催場所	出席者
10月22日	市民公開講座 2022 認知症予防セミナー 人生100年時代 脳の健康を保つには...	農業屋コミュニティ文化センター	谷口

＊特別講演の富本秀和先生の講演の前評判が良くて、1名参加した。

＊コロナの影響で集合研修は殆どなかった。

《介護支援専門員更新研修Ⅱ》

介護支援専門員専門研修過程Ⅱ：5日間 1) 令和4年6月27日7月4日・11日・25日8月22日 2) 令和4年9月2日・16日・30日10月21日・28日	開催場所	出席者
・介護保険制度及び地域包括システムの課題 ・課題整理総括表 ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例 ・看取り等における看護サービスの活用 ・認知症に関する事例 ・医療連携と家族支援の視点が必要な事例	WEB ケアハウス	松葉 金児

・社会資源の活用に向けた機関との連携 ・状態に応じた多様なサービスの活用 ・事例発表と振り返り	WEB ケアハウス	松葉 金児
---	--------------	----------

＊介護支援専門員の有効期間更新の為の研修です。5 日間で 32 時間となっています。

《介護支援専門員協会研修会》

実施日	研修内容	開催場所	出席者
6 月 20 日	松阪支部・総会 ・第 1 回研修会・介護支援専門員の課題と今後	WEB・ケアハウス	3 名
7 月 11 日	・第 2 回研修会 夜間にて不参加 ・自立支援に向けた取り組み	医師会	0 名
8 月 15 日	支部・第 3 回研修会 不参加 アドバンスケアプランニング人生会議		0 名
9 月 12 日	支部・第 4 回研修会 ICF の理解とケアマネジメント及び介護における応用	ケアハウス WEB	2 名
10 月 27 日	支部・第 5 回研修会 夜間にて不参加 ・多職種連携	医師会	0 名
11 月 21 日	支部・第 6 回研修会 認知症ケア～介護困難症例別ベストケア 50	ケアハウス WEB	3 名
12 月 19 日	支部・第 7 回研修会 ・いまさら聞けない社会資源 ・民生・児童委員の活動について ・遺品整理と介護のかかわり及び今後の在り方		1 名
1 月 16 日	支部・第 8 回研修会 ・ケアマネのストレスとモチベーションマネジメント ～明日も頑張りたいあなたへ～		2 名
2 月 20 日	支部・第 9 回研修会 ・災害時に何が起きるのか？どう備えれば良いのか？ ・東日本大震災の経験・BCP 作成の意義、作成方法		2 名
3 月 2 日	支部・第 10 回研修会 夜間にて不参加 ・薬剤師会との合同研修会	医師会	0 名

《事例検討会：第一・第二・第四・第五地域包括支援センター》

実施日	研修内容	開催場所	出席者
第二地域包括 事例検討会			
5 月 24 日	・母に安定した生活を望む息子と妻に執着している夫	嬉野社会福祉センター	2 名
7 月 13 日	・妹・近隣住民に支えられ生活が成り立っている		2 名
9 月 13 日	・初老期の独居における認知症の支援		2 名
11 月 15 日	・穏やかさと時として認知症で気分が変わる利用者		2 名
1 月 23 日	・コロナ感染予防にて不参加		0 名
3 月 13 日	・家族とのコミュニケーションが困難にて医療に繋がらない		2 名

＊6 回中 5 回参加。色んなケースを聞くことで自分のケースに反映していきます。

＊周りが良さと思っても、最終は本人の意向が鍵となります。

第五地域包括 きゃりああつぷ倶楽部			
6 月 21 日	・多問題家族を包括的に支援する一例	ケアハウス WEB	1 名
9 月 20 日	・世帯全員に病識がない家族への支援・KP 不在の中で ・認知症初期集中支援チームから		1 名
3 月 22 日	・身寄りがいない人の終活支援 ・司法書士がかかわる高齢者について		1 名

《その他》

なし

13. 監査・介護情報の公表調査

実施日	名称	内容	担当者
9月27日	介護情報の公表	パソコン入力	島田
10月12日	松阪市実地指導	介護保険サービス事業所に対する実施指導	島田

14. 苦情受付の状況

受付日	苦情申立者	内 容
4月19日	家族	・ショート帰宅後の衣服の着せ方について ・ショート送りの際に廊下を車いすで傷をつけた ・上記の対応が悪いとケアマネも交代になった
4月24日	家族	介護支援専門員の紙おむつ申請時の対応について説明不足だった
2月23日	本人	ケアハウスでの食事提供の件 心がこもっていない食事提供
2月24日	家族	車いすのブレーキレバーが歪んでいるにもかかわらず報告くれなかった

＊ちょっとしたミスから利用者の権利に対するミスなどから苦情が出ています。

＊苦情がありすぎて提出しないことも多々あります。

15. 行事 《地域支援事業・ほっと一息》

★印は、リーダー

開催地区	開催日	参加人数	講師及び参加職員
美濃田地区	6月30日(月)	19名(男性 2名・女性 17名)	★島田・加藤・森上・浅井・前田
	9月	中止	
	12月	中止	
八重田地区	6月4日(土)	15名(男性 8名・女性 7名)	★前川・川上・谷・谷口・森本
	12月10日(土)	19名(男性 13名・女性 6名)	★鍛野・金児・山中・松本・新田
	3月4日(土)	21名(男性 11名・女性 10名)	★前川・谷・辻本・森上・川谷
深長地区	4月13日(水)	13名(男性 2名・女性 11名)	★前川・金児・木下・飛矢・辻本
	7月6日(水)	13名(男性 2名・女性 11名)	★角野・岡田・川北・山中・黒谷
	11月9日(水)	13名(男性 2名・女性 11名)	★川上・谷口・川本・野口・山口
	3月8日(水)	12名(男性 2名・女性 10名)	★島田・奥野・浅井・栢
大阿坂地区	5月14日(土)	中止	
	9月10日(土)	中止	
	11月12日(土)	中止	
川井町睦クラブ	11月25日(金)	20名(男性 6名・女性 14名)	★野口・島田・川本

＊コロナ禍の影響で開催数は減ったものの感染対策を徹底し9回開催できました。

＊北川監事さんのご協力で川井町睦クラブも今年度も開催でき、参加者さんから喜びのお声を頂きました。

＊令和4年度合唱フェスティバルもコロナ禍の中開催され、ぬくもりデイの『お花畑』を応援しました。

＊延べ職員 42名、地域住民 145名の交流を持つ事が出来ました。

16. 整備事業

なし

17. ありがとうメッセージ

総数	22件	特養	4件	居宅	1件
		デイサービス	4件	CA委員	1件
		ぬくもり	4件	法人	0件
		ヘルパー	7件	他の事業所	1件
		ケアハウス	0件		

＊メッセージを届けた人は、島田:10件 松葉:8件 谷:2件 神保(ヘルパー):1件 奥田(デイ):1件

＊勿論、皆さん言葉で直接は伝えていますが、法人全体で共有する為にも文字に認めていく事が大切だと思います。が、居宅として届ける人が3名でした、今後も面談しながら一つでも多くの『ありがとう』が届けられるように努力していきます。

18.事業目標に対する総括

①信頼し任せる仲間をたくさん作ります。

＊情報共有という言葉をよく耳にしますが、情報を出す側と聞く側とでは知りたい内容の違いがあり、共有する前の段階から見直しも必要かと感じました。

＊不安になるような介護に沢山出会い、紹介する立場として複雑な思いでいることが多かった1年でした。

②予後予測に努めます。

＊予後予測に努めているが、それ以上に予想外の出来事がありバタバタした事が多かった1年でした。

＊ケアマネにとって予後予測の大切さは研修会でも言われているのでアセスメントをはじめ、生活歴や生活環境を把握し在宅生活が継続できるケアプラン作りに励んでいきたいです。

③地域と法人を繋ぎます。

＊ほっと一息がコロナで中止になりながらも希望地域には感染対策をしっかりと行って実施できました。

＊広報誌・居宅の情報誌『優』等、利用のない方への訪問も定期的に行わせてもらうことで、困った時は南勢カトリックを思い出してもらえていると感じています。

＊新規相談の中にはリピーターや関わっていた家族さんからの依頼が多かったように思います。それらが今年度は、数字に表れていたと思っています。

【6】 伊勢寺デイサービスぬくもりの家（通所介護・総合事業 第1号通所事業）

1. 総評

- *例年は夏～秋にかけて稼働率を上げる事ができるのですが、R4年度はコロナ感染症のために、逆に下がってしまう結果となりました。本人が感染しなくても同居家族が感染もしくは濃厚接触者となり、休んでいただくケースが多くありました。
- *力を入れているレクリエーションは、ほぼ予定通りに実施できたことは良かったです。施設外の活動とし、ブリザードフラワーの展示と松阪合唱フェスティバルに参加できました。
- *課題として、利用者様の身体機能や認知機能の低下により、介助や見守りが必要な方が増えました。その利用者様に対応できずに転倒事故があり、また余暇時間の見直しも必要だと考えています。

2. 職種別職員数（R5年3月末現在）

単位：人

職種	員数		兼務等の状況	採用		退職数	
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	常勤	非常勤
センター長	1						
介護職	3	6	生活相談員、調理員				
看護師		4	機能訓練指導員				
管理栄養士							
調理員		4	介護職				
生活相談員	3		センター長、介護職	1		1	
事務員							
機能訓練指導員		4	看護師				
運転士							
用務員							

- *5月に採用した職員（生活相談員）が、1月で退職しました。
- *7月に産前産後休暇を取得する職員が、1名おり休みに入っています。

3. 利用状況、月別入退所状況（各月末日数）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
延利用	541	427	444	439	403	399	472	436	398	407	405	499	5,270	439.2
新規利用	0	2	1	0	1	1	2	2	0	0	1	1	11	0.9
利用中止	0	2	2	0	0	0	0	2	1	0	0	0	7	0.6

- *延利用者数…5,270名（R3年度より-3名）、新規利用…11名（R3年度より-1名）、利用中止…7名（R3年度より-3名）

4. 地域別利用者分布（R5.3.31現在）

地区名	人数
伊勢寺	16
大阿坂、小阿坂、美濃田	17
深長、八重田、野村、岩内、日丘	6
その他	15
計	54

5. 営業日数

単位：日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	26	26	26	27	26	26	26	25	24	24	27	309

6. 利用実人員

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
50	52	51	49	48	52	54	54	49	49	49	50	652

7. 要介護状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比 (%)
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
要支援1	7	6	6	5	4	6	4	4	3	3	3	2	53	4.4	8.7
要支援2	9	9	9	9	7	7	5	6	6	6	6	8	87	7.3	14.3
要介護1	19	21	21	21	23	25	30	31	28	28	28	29	304	25.3	50.1
要介護2	9	10	9	9	7	7	8	7	7	7	7	7	94	7.8	15.5
要介護3	5	5	5	4	6	6	6	5	4	3	3	3	55	4.6	9.1
要介護4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	14	1.2	2.3
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	53	53	54	52	53	56	57	57	57	54	53	53	658	50.6	100

*介護度別では、要介護①が多く、全体の 50.1%を占めています。当デイサービスは軽度の方を対象にしていますので、このままの介護度が上がらないように、支援を続けていきたいと思ひます。

*開設当時に比べて、介護を必要とする方や認知症の方が増えてきています。対応できるように職員の能力アップできるようにしていきたいです。

8. 施設内研修

研修名	開催年月日	参加職員
【自主勉強会】施設の種類について 担当：吉田	5月16日（月）	野口、吉田、森上、木下、森本、山中
【自主勉強会】防災について 担当：野口	7月29日（金）	野口、米川、森上、木下、森本、山中
【自主勉強会】認知症の方の対応について 担当：森上	9月15日（木）	野口、森上、木下、森本、山中
【自主勉強会】入浴介助について 担当：木下、山中	12月12日（月）	野口、森上、木下、森本、山中
苦情第三者委員との意見交換会 コロナ感染拡大のため、中止	1月	野口 （書面にて提出）
【自主勉強会】虐待について 担当：森本	2月20日（月）	野口、森上、木下、森本、山中

*施設内研修としては、5回の自主勉強会を行いました。それぞれが担当を担い、実施することができました。7月には、新任職員の入職があったために、消火器の場所の確認と避難経路の確認を行いました。

9. 施設外研修

研修名	主催	開催年月日	開催場所	参加職種
介護福祉士実務者 研修	キャリアアカデミー	5月10日・24日 6月2日・7日 7月13日・26日 8月5日、9月22日	キャリアアカデミー 松阪校(松阪市大津町)	介護職

10. 苦情受付状況

《苦情報告》

受付日	苦情申立者	苦情内容
3月16日（木）	家族様	毎月体重測定を行っていますが、少し増加があった利用者様に対して、「太ったな」と発言する。本人様は、気にされて体重を落とそうと食事量を減らすようになった。 ⇒本人様には平均的な体重をお伝えするようにし、大きな増減があった時には家族様に連絡することにした。
3月17日（金）	家族様	お迎えに行き忘れてしまい、家族様より確認の電話が入る。 ⇒すぐに迎えに行く。 送迎表には記入があったが、転記の際にミスが起こってしまう。

《ひやりはっと（事故）内容》

受付日	ひやりはっと（事故）内容
4月23日	入浴時、階段を踏み外して、転倒される。デイサービスでは状態の変化はありませんでしたが、ケアハウスから病院受診される。特に異常なしとの診断を受ける。
9月22日	入浴で入湯時に階段を踏み外して、尻もちをつかれる。転倒時の衝撃が小さかったために、様子を見ることにする。
10月21日	トイレからコールがあり、鍵を開けて入ると、便器の前で座り込んでいる。外相や痛みはなし。
11月21日	帰宅後に指定された椅子に座っていただく、職員が帰るために家を出ようとした時に声が聞こえたために、戻る。椅子の近くで床に座り込んでいる。
11月26日	送迎の車に乗車中、寒いと言われるので、運転席から窓を閉めようと操作する。確認不足で、利用者様の右第5指を挟み、出血がある。
1月19日	普段シルバーカーを使用している方から悲鳴が聞こえる。移動のために、シルバーカーを押しながら向きを変えようとした時に転倒される。病院受診するも特に異常なし。

* 苦情は書面ではもらっていませんが、適切とはいえない言葉使いだったと思います。同じ事を伝えるにしても相手に傷つけない言葉使いを行っていきたく思います。

* 転倒事故が5件ありました。介助無しで歩行される方が多くいますので、全てを防ぐのは難しいかもしれませんが、しかし見守りはしっかりと行うなど、注意していきたく思います。

1 1. ありがとうメッセージ

受付年月日	申し出者	内容
10月24日		合唱フェスティバルでは、特にぬくもりの家の職員が一致団結して頑張っているのが見受けられた。岡本先生や関係団体からもお褒めの言葉をいただく。
10月28日	奥様	ご飯やお茶が美味しい。1ヶ月のメニュー表ももらえるので、昼食とかぶらないように夕食が用意できる。入浴も拒否なく入ってくれ、気に入っている。
11月2日	お嫁様	合唱フェスティバルに参加させてもらった。おしこの袋をさげているが、見えないように配慮してくれ、出演させてくれた事に感謝の気持ちでいっぱいです。
11月23日	お嫁様	デイサービスに行くのを楽しみにしており、献立表などを休みの日でも見えます。温かな職員ばかりで、安心して預けられています。

* ありがとうメッセージは、4通いただきました。ゆっくりと過ごしていただける場（施設）にしたいと思いますので、この利用者様の気持ちを励みに頑張りたいと思います。

1 2. リハビリ実施状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	376	380	402	375	416	371	427	418	370	378	369	437	4,719

1 3. ほっと一息

実施日	場所	参加職種
4月13日	深長	介護職員
6月4日	八重田	介護職員
6月30日	美濃田	介護職員
7月13日	深長	介護職員
11月9日	深長	センター長
11月25日	川井町	センター長
12月10日	八重田	介護職員
3月4日	八重田	介護職員
3月8日	深長	介護職員

* ほっとひと息には、9回参加しました。ぬくもりの家の職員はデイサービスで勤務しているという事で、体操やレクリエーションの部分を主に担当を担いました。

1 4.行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
5月8(金)～31(火)	ブリザーブドフラワーの展示	【場所】三十三銀行の本店営業部に展示 【展示作品】①木曜日にきてもらっているブリザーブドフラワー教室に参加している利用者の作品、②利用者様全員で5月の季節の作品
8月29日(月)～9月2日(金)	夏まつり	【内容】綿菓子作り、輪投げ、魚釣り、スイカ割り、炭坑節
10月6日(木)～12(水)	運動会	【内容】玉入れ、借り物競争、菓子食い競争など
10月23日(日)	松阪合唱フェスティバル 2022	【対象利用者様】金曜日にご利用の方 【曲目】青い山脈、瀬戸の花嫁
11月28日(月)～12月3日(土)	6周年祭	●11月29日『おやつ作り、思い出を語ろうゲーム、写真のスライド』 【時間】14:00～15:30【参加者】〇名 ●11月30日『おやつ作り、ビンゴゲーム、写真のスライド』 【時間】14:00～15:30【参加者】18名 ●12月1日『おやつ作り、ビンゴゲーム、写真のスライド』 【時間】14:00～15:30【参加者】17名 ●12月2日『太極拳様、写真のスライド』 【時間】14:00～15:10【参加者】18名 ●12月3日『コーラス斎王様、写真のスライド』 【時間】14:00～15:15【参加者】17名 ●12月4日『フラダンス様、写真のスライド』 【時間】14:00～15:15【参加者】17名
12月19日(月)～24日(土)	クリスマス会	【内容】ケーキ作り、サンタクロースと写真撮影・プレゼント(クッキー)渡し

(月例行事)お誕生会、リンパマッサージ、講師の先生によるコーラス・音あそび・健康体操・ブリザーブド・生花・太鼓・フラダンス

【6周年祭】感染症対策を行い予定通りに実施する事ができました。12月3日のコーラス斎王様、12月4日のフラダンス様に来ていただきました。

1 5. 施設整備状況

《整備事業》

実施月	整備事業名	税込事業費(円)	リースの有無
6,9,12,3月	浄化槽の維持管理業務／日研プラント	39,600円／年	無
6,9,12,3月	浴槽用ろ過機(ろ過装置、薬注装置)の保守点検／ロンシール機器	154,000円／年	無
5月	トイレのモーター部品交換／マナブ	11,330円	無
6月	ろ過機・ろ材交換と配管洗浄工事／ロンシール機器	253,000円	無
6月	プラグ交換・タント／伊勢寺自動車	11,220円	無
6月	ドアノブ修理・セレナ／伊勢自動車	9,702円	無
7月	車検・ワゴンR／伊勢自動車	42,460円	無
8月,1月	消防機器の保守点検／清水商会	55,000円	無
8月	浴室のレジオネラ菌検査／ロンシール機器	13,200円	無
8月	消火器の交換／清水商会	8,030円	無
9月	左前輪パンク修理(送迎車)／伊勢寺自動車	2,200円	無
12月	浄化槽清掃費／アーステックタガワ	97,240円	無
12月	フロア内のワックス清掃／ヤマオカテクノサービス	55,000円	無
12月	浄化槽フロアのモーター部品交換／日研プラント	21,725円	無
2月	貯水庫の水質検査／中部環境技術センター	68,200円	無

- *車両の修理・車検などで費用のかかる事が多い年でした。不注意による事故で保険も使用したために、気を付けていきたいです。
- *施設も5年が経過し、機械の故障もみられるようになっていきます。定期的にメンテナンスを行い、少しでも長持ちできるようにしていきたいです。

《物品購入》（1件10万円以上）

検収月	物品名	数量	税込み購入額	リースの有 無
10月	制服	シャツ・ズボン 18着	144,573円	無

1.6. 事業目標に対する総括

1. 業務連携を行います。

- *聞いた情報は口頭ではなく、書面に残すように目標をたてました。職員が主にケアマネへの連絡をノートに記入するようになりました。まだ経験の浅い職員は文を書くのに時間がかかっていますが、文章で伝える練習だと思い今後も続けていきたいです。そのために、令和5年度も引き続き同じ目標にしています。
 - *回覧書類は全員が3日で閲覧するようにしています。勤務日数の少ない職員にも声掛けを行うなど意識づくりができていますと感じています。
- この2点から、以前に比べて「知らない」「聞いていない」という事が減っていると感じています。

2. 選んでいただけるデイサービスを目指します。

- *感染症対策として、消毒の徹底、密の回避などを実施しました。消毒では利用者様が飲食前にはアルコール消毒をし、テーブルやシルバーカーなども定期的に消毒を行いました。密の回避では、密にならないように入浴に費やす時間を増やし、なるべく少人数で入浴を行うようにしました。このこともあり、新型コロナウイルスに感染する方はいましたが、施設内で広まる事はありませんでした。
- *レクリエーションでは、4月からフラダンスの先生に来てもらっています。経験がある方はいませんが、先生が明るく、フラダンスだけではなく体操を行うなど利用者様も熱心に参加していただいています。2月には子どもの生徒さんが連れてきてくださるなど、楽しい時間を過ごす事ができました。
- *利用者には認知症の方や会話が苦手な方が増えてきています。利用者様のペースに合わせる事で、ゆっくりとした雰囲気のデイサービスになるようにしていきたいと思っています。そのためにも職員が能力アップできるようにしていきたいです。

3. 行事に参加し、交流の機会を持ちます。

- *ほっと一息も開催されるようになり、主に体操やゲームを担当しました。参加後の職員の表情からも役割を果たす事ができたと見受けられます。今後はさらに決められた担当の役割を行うだけでなく、地域の方や他部署の職員とも交流する場としてほしいと考えています。

【7】 ケアハウス

1. 総評

平均入居者が43名と低迷していることが一番の課題である。又、コロナのクラスターが起こった事は痛手であった。新規獲得はもとより、30周年を迎え、建物の老朽化に伴う整備又、BCP策定の義務化と共に、リスクマネジメントにも心を砕いていきたい。

2. 職種別職員数(R5.3.31現在)

単位：人

職種	員数			兼務等の状況	採用		退職数	
	常勤	非常勤	(常勤換算)		常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1			事務員兼務				
介護職	2							
(管理)栄養士	1	1	(0.4)					
生活相談員	1							
宿直専従員		1	(0.1)					
計	5	2						

3. 利用状況、月別入退所状況(各月末日)

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
利用人員		47	48	45	43	43	43	42	41	41	42	42	42	519	43.3
入所人員	男	1					2				1			2	
	女	1	1							1				3	
退所人員	男		1					1		1				3	
	女		2	2					1				2	7	

4. 入退所理由

入所直近の状況	人	退所理由	人
在宅	3	死亡による	3
老人保健施設		在宅復帰	3
養護老人ホーム		長期入院	
ケアハウス		特養	2
病院		他施設	2
短期入所継続		その他	
他施設	2		

※退所理由の概況

在宅復帰:息子様と自宅で同居2名、知人の紹介でアパート入居1名

他施設:グループホーム1名、有料老人ホーム1名

5. 要介護状況(R5.3.1現在)

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
総合事業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
要支援1	8	8	7	7	7	7	6	6	6	6	5	5	78	6.5
要支援2	6	7	5	3	3	3	2	2	1	1	1	1	35	2.9
要介護1	9	11	12	11	12	10	11	11	10	9	9	9	124	10.3
要介護2	10	9	11	11	12	14	14	14	14	14	14	14	151	12.6
要介護3	2	2	1	1	1	2	1	1	2	2	4	4	23	1.9
要介護4	1	1	1	1									4	0.3
要介護5														0
合計	37	39	38	35	36	37	35	35	34	33	34	34	427	35.5

※昨年度に比べると、要介護者は32.6人から35.5人に増加。要介護1が9.1人から10.3人に増加。

要介護2が8.3から12.6人にそれぞれ増加した。

6. 入居期間状況(R5.3.31 現在)

単位：人

期間	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	計
男	1	1	4	1	1	0	8
女	3	12	6	8	1	4	34
計	4	13	10	9	2	4	42

※昨年度に比べると1～3年未満 19 名から 13 名に減少。5年以上の方はほぼ横ばい。

7. 年齢別状況(R5.3.31 現在)

単位：歳

	男性	女性
最高齢	97歳	95歳
最低齢	69歳	64歳
平均	85.8歳	82.8歳
全体平均	85.2歳	

※平均年齢は昨年度より 0.2 歳減少。

8. 各種会議

会議名	出席者職名	実施月
職員会議	施設長、課長、栄養士、相談員、ケアワーカー	毎月1回
課題解決会議	同上	毎月1回
処遇会議・ケース会議	同上	毎月1回
身体拘束委員会	同上	毎月1回
入居判定委員会	同上	随時
給食会議	施設長、課長、栄養士、委託業者	毎月1回
PA 会議	施設長、課長	毎月1回
事務会議	施設長	毎月1回
第三者委員会	施設長、相談員	年2回
ひやり検討会	施設長、課長、栄養士、相談員、ケアワーカー	毎月1回

9. 施設内研修

開催年月日	研修テーマ等	参加職種
10/24,3/14	広報委員会	ケアワーカー

10. 施設外研修

	研修名	主催	参加職種
4/27	老施協・全軽協合同研修会（オンライン）	老施協、全軽協	施設長
	〃	〃	〃
	日本カトリック老人施設協会全国大会（web）	日本カトリック協会	栄養士、施設長

11. 苦情受付状況

受付日	苦情申立者	内 容
2/3	入居者	朝食に出されたオクラが固く、厨房職員の対応が不適切。

12. 行事

実施日	行事名	内容・参加者等
4/1	開設記念	入居者に紅白饅頭配る
5/5	端午の節句	端午の節句メニューとしょうぶ湯
7/12	入居者健康診断	松阪市健診センターより健康診断実施
8/3	夕涼み会	盆踊り飾り・プレゼント
9/19	敬老昼食会	敬老の日昼食会
11/10	紅白ゲーム大会	ゲームにより入居者同士の交流を図る
12/22	季節風呂	ゆず風呂
12/25	クリスマス昼食会	クリスマス昼食会・クリスマスプレゼント
1/1	元旦昼食会	元旦昼食会・お屠蘇のふるまい
1/7	獅子舞訪問	舞の見物
1/20	避難訓練	ケアハウス避難訓練

3/3	ひな祭り	ひな祭りメニューとお菓子配る
3/10	避難訓練	ケアハウス避難訓練

(月例行事)誕生会、喫茶くつろ木、お楽しみパン、連絡会、清掃デー、各種クラブ、慰霊祭御ミサ他

1 3. クラブ活動等

	フェルトクラブ		創作・気まぐれクラブ		音楽クラブ		頭の体操クラブ		計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
4 月	0	0	1	4	1	7	1	6	3	17
5 月	0	0	1	5	1	7	1	8	3	20
6 月	1	9	1	6	1	8	1	6	4	29
7 月	1	10	1	9	1	10	1	7	4	36
8 月	1	9	1	6	1	7	1	7	4	29
9 月	1	9	0	0	0	0	0	0	1	9
10 月	1	8	1	6	1	5	1	6	4	25
11 月	0	0	1	6	0	0	0	0	1	6
12 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1 月	0	0	1	5	1	6	0	0	2	11
2 月	2	11	1	5	0	0	0	0	3	16
3 月	1	6	1	6	1	5	1	5	4	22
合計	8	62	10	58	8	55	7	45	33	220

1 4. 施設整備状況 (1 件 10 万円以上)

実施月	整備事業・物品名	税込事業費 (円)
6/8	① 高圧受電設備改修工事	4,224,000
6/20	② 1F フロア空調工事	1,375,000
6/20	③ 厨房空調入替工事	1,210,000
12/10	④ 508 号室エアコン	192,500
12/10	⑤ 食堂用トレイ (100 枚)	143,770
1/11	⑥ 食堂天井埋め込み換気扇	143,000

合計 7,288,270 円

《整備及び物品購入について、取替え、交換・購入の理由》

- ① 高圧ケーブルの耐用年数が15年であり、急な停電が為、ケーブルの交換を行った。
- ② 冬場に1Fフロアを1台で賄っていた為、寒いという苦情があり、空調を増設した。
- ③ 厨房の冷房がきかないということで交換を行った。
- ④ 508号のエアコンが洗浄をしても粉状のカビが出てくるのを確認したので、交換。
- ⑤ コロナ対策として食堂の換気が出来ない為、換気扇を取り付けた。

1 5. 事業目標に対する総括

- ・ 令和4年度はコロナのクラスターを引き起こしてしまい、利用者様には多大な御迷惑をおかけした年でした。我々職員もコロナに感染し、厳しい勤務体制でしたが、法人にも力をおかりして何とか乗り切れました。感染対策は継続して気を引き締めていきたいと思ひます。
- ・ 年間を通して、42床という結果で当面の目標の45床にも届きませんでした。問合せ、体験利用は継続してあるので、確実に入居に繋げるような工夫と体制を構築していきたいと思ひます。

〔目標の振り返り〕

1. 部内での連携、部外との連携に努めます。

① 入居者全員が、月に1度は職員とじっくり話をする機会をもてるよう計画・実施します。

② 朝のミーティング、日々の申し送り、2重チェックを徹底します。

- ・相談員の聞き取りを中心に、人間関係の悩みや、訴えを個別に聞くことができた。
- ・投書箱を事務所前に設置し、無記名なので、声に出せない方の意見を聞けるようになった。
- ・内線、福祉の森の伝言機能を活用してCMさんやヘルパーさんとの情報の共有につとめた。
- ・生活環境、食事等でまだまだ課題は山積しているが、一つ一つより満足頂けるようにしていきたい。

2. ご利用者の安全を守ります。

① ひやりはっと記録を振り返り、月に一度事例検討会を実施します。気付きや解決策の言語化・共有を行います。

② 明確な感染対策について、入居者様等への迅速で丁寧な情報提供、また協力要請を行い共に安心した生活を築いていきます。

- ・残念ながら、11月～12月にかけて10人以上のコロナクラスターが発生した。2ヶ月にわたり、職員も利用者も疲弊し、サービスの低下、ADLの低下をもたらした。感染対策を徹底していきます。

- ・感染対策においては、連絡会やホワイトボードを活用し、迅速な情報提供と方針の説明を行えた。まだまだコロナは予断を許さない状況なので継続していく。

3. ほっと一息や予防教室、秋祭り等の法人行事、地域との交流に、全職員が参加する機会をもちます。

① 1会議1意見以上の準備をもって、積極的にあたります。

② 身近にある存在として共に歩めるよう、理解と交流を深めます。

- ・コロナ禍において予防教室等の法人行事は軒並み中止になったが、予防教室や合唱フェスティバル、ほっと一息など実施された行事については、それぞれの役割を理解し、積極的にとり組めたと思います。